

フリーメイソンとロータリー

私が書いている「炉辺談話」の「歴代 RI 会長のプロフィール」に関して、或るパストガバナーから、1922-23 年度 RI 会長レイモンド・ヘイバンズがフリーメイソンだという記述を読んだが、それは本当かどうかと言う質問をいただきました。

実はこの「歴代 RI 会長のプロフィール」は RI が 1997 年に発行した「Paul Harris and his successors ポール・ハリスとその後継者たち」を翻訳したものなので、RI 自身が今までタブーとされてきたフリーメイソンとの関係に触れて、レイモンド・ヘイバンズ元 RI 会長がフリーメイソンであったことを公表したわけです。

この文中には「Ray was past commander of the Scottish Rite Bodies of Kansas City, a thirty-third-degree Mason, and Past Potentate of the local Masonic temple. レイは、カンザスシティのスコッティッシュ・ライトの元指導者であり、フリーメイソンの 33 階級であり、地元のフリーメイソン教会の元実力者でした。」記載されています。

スコッティッシュ・ライトはフリーメイソンの上位階級を意味し、33 階級とはフリーメイソンの最高位の最高大総監であったことを表します。

なお「Paul Harris and his successors」にはヘイバンズ元会長以外にも、1918-19 年度 RI 会長ジョン・プール、1941-42 年度 RI 会長トム・デービスはフリーメイソンであり、1955-56 年度 RI 会長 A.Z.ベ

一カーはフリーメイソンの33階級であったことが紹介されています。

東ヶ崎潔元 RI 会長もフリーメイソンであるとしている文献もありますが、ロータリーの公文書にはそのことに関する記載はありませんから真偽のほどは定かではありません。

インターネット上の百科事典「ウィキペディア」には、「ロータリークラブの創始者であるポール・ハリスはフリーメイソンであったが、社会奉仕と慈善活動に専念する公開結社として、ロータリークラブを設立したといわれている。ただし、ロータリークラブ側は、組織としてのフリーメイソンとのつながりは否定している。」と記載されていますが、ロータリーの公文書にはポール・ハリスがフリーメイソンであったという記述は見当たりません。

フリーメイソンと言うと何やら得体の知れない秘密結社というイメージが強いようです。中世騎士団の末裔とか、ユダヤ人の秘密結社とか、世界制覇を狙った地下組織といった見方をする人もいますが、それはどうやら、「ダビンチ・コード」や「悪魔と天使」などの小説や映画の世界の影響を受けた話のようで、本当はイギリスで生まれた石工を中心とした専門職種集団が、その後友愛団体に発展したというのが通説のようで、その目的は友愛 **fraternity** と一つの世界 **one world** だと言われています。入会条件として「無神論者」「女性」「身体障害者」を排除しているところが特異的です。

ロータリーで説く親睦 **fellowship** や世界社会奉仕 **world community service** の考え方とよく似ているところが、世間の人々がロータリーと混同する原因かも知れません。

ロータリアンの中にフリーメイソンが沢山いることは間違いのな

い事実であり、自分がフリーメイソンであることを誇らしげに語った上、もしも私が希望するならばいつでも日本のグランド・ロッジに紹介するとアメリカ人のパストガバナーに誘われたこともあります。

どうやら外国では胡散臭い秘密結社ではなく、誇りを持ったエリート集団だと考えている模様です。

フリーメイソンの上部組織といわれるイルミナティの文献の中には、ロータリーやライオンズはイルミナティの下部組織の一つであると書かれていますが、ロータリーの文献のどこを探しても、イルミナティやフリーメイソンとの関係を窺わせる記述はありません。

元首相、鳩山一郎はフリーメイソンであり、彼が設立した「友愛同志会」はフリーメイソンの精神を基礎にしたものだと著書の中で述べています。鳩山一郎の薫陶を受けた鳩山由紀夫、鳩山邦夫兄弟が最近盛んに「友愛 **fraternity**」という言葉を強調していますが、これがフリーメイソンの考え方を基本にして日本の政治の舵を取ることを意味するのならば、何か不気味で危険な感じがします。

2009.6.22